

鳥取市認知症フォーラム2025 ～鳥取市～

#認知症

認知症フォーラム開催の背景

- 2018年に認知症本人である藤田和子さんが登壇。「認知症とともに自分らしく暮らす」をテーマに従来の支援者視点からの転換を認識する重要な契機として、認知症本人と共に進めていくことを基本として取組む流れが生まれた。
- 認知症の本人や、本人とともに活動される専門職等を県内外から講師として招き、共生社会について考える内容としている。

目的

- 「認知症になってからも自分らしく暮らし続けることができるまち」を目指し、「新しい認知症観（※）」に立って市民をはじめ様々な立場の人が、認知症に対する正しい知識を持ち、理解を深めることを目的として開催されています。

※新しい認知症観

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。



フォーラム2025開催までの経緯

- 以前より、若年性認知症の診断を受けた人からの相談も増えてきた。若年性認知症の人は相談時点で、仕事を退職されている人が多いことから、就労に対する支援について自分事と考えてもらう必要があった。
- 『鳥取市認知症施策推進計画』に掲げる目標1「自分が認知症であることを必要な人に伝えることができる」と目標3「自分自身の暮らしの様々な場面でかかわる人とともに暮らしやすい環境を創ることができる」に向けた取組みになった。
- 小規模多機能型居宅介護事業所の利用者の有志の方から、「人の役に立ちたい」「できることはやりたい」という思いを聞き、フォーラムの準備にあたり、当日配布の封筒のシール貼りを担ってもらうなど協力を得ることができた。

鳥取市認知症フォーラム2025 ～鳥取市～

認知症

講演

- 講演 「認知症とともにこれからも歩んでいきたい！～私、神原の今を伝えます～」

【講師】

- ・ 神原 繁行 氏
あきたオレンジ大使 社会医療法人興生会 横手興生病院 リハビリテーション室 看護師
- ・ 佐藤 昌子 氏
社会医療法人興生会 横手興生病院 リハビリテーション室長

講演では、診断後も看護師の仕事の続けながら生活されており「運転免許を返納した後も、友人に運転を依頼することで、趣味のドライブを継続することができている」と、自分のやりたいことを周囲に伝え、協力を求める大切さをご講演されました。

神原さんの同僚の佐藤さんは、「神原さんの強みを活かした、神原さんにしかできないことはたくさんある。神原さんの姿を見て、自分には何ができるか考える機会を与えてもらっている。」と講演されました。



座談会

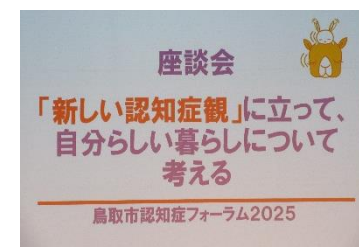
- 座談会 「新しい認知症観」に立って、自分らしい暮らしについて考える

【登壇者】

神原 繁行 氏、佐藤 昌子 氏、鳥取市内の認知症本人・関係者5名にて座談会。

座談会では、お互いにチャレンジしたことについて話をされました。認知症になる前から得意だったことだけではなく、周囲から勧められたものもあり周囲の関わりも重要だという意見もありました。

最後に、神原さんが「短期記憶の低下はあるが、過去にとらわれるのではなく、これからの未来を考えることが大切。今までと変わらず、なんとかできるさで認知症とともに歩んでいきたい」とお話されました。



鳥取市認知症フォーラム2025 ～鳥取市～

#認知症

今後の展望

- 地域住民だけではなく、介護保険事業所、企業の方等、フォーラムに参加出来なかった方にも共生社会の実現を推進するため、認知症基本法の理解や新しい認知症観が普及するよう啓発を行っていききたい。
- 認知症と診断された方や自分が認知症かもしれないと感じている人へ、早期から認知症とともに自分らしく生きることを考えることができるよう、医療機関等との連携を更に強化していききたい。
- 市民の生の声を年度末に開催予定の「鳥取市認知症施策推進WG」でも共有し、認知症になってからも自分らしく暮らし続けることができるまちにしていきたいと考えている。

鳥取市 認知症フォーラム 2025

令和7年
8月7日(木)14:00～16:00 (13:30開場・受付)

鳥取市民会館 大ホール(鳥取市掛出町12番地)※東面参観

定員
300名

参加
無料

要申込

●講演

認知症とともにこれから歩んでいきたい！
～私、神原の今を伝えたい～

講師：神原 繁行 (かんばら しげゆき) 氏 (写真左)
あきたオレンジ大使
社会医療法人興生会 横手興生病院 リハビリテーション室 看護師

佐藤 昌子 (さとう まさこ) 氏 (写真右)
社会医療法人興生会 横手興生病院 リハビリテーション室長

●座談会

「新しい認知症観」に立って、
自分らしい暮らしについて考える

登壇者：神原 繁行氏、佐藤 昌子氏、
鳥取市内の認知症本人・関係者 等

●神原繁行氏プロフィール

認知症の本人。秋田県横手市在住。
看護師として医療機関に勤務していた
令和4年秋、58歳で若年性アルツ
ハイマー型認知症の診断を受ける。そ
の後も医療機関で勤務を続け、認知
症への理解を広げる取組を行っ
ている。
令和6年1月、北海道・東北地区初
の地域認知症希望大使「あきたレ
ンジン大使」に就任。

主催：鳥取市 共催：鳥取県医師会
後援：岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町

問合せ・
参加申込

鳥取市中央包括支援センター
右記のQRコード、電話または裏面のFAX送信票の
いずれかにてお申し込みください。

電話 0857-20-3457 FAX 0857-20-3906 メール chuohokatsu@city.tottori.lg.jp

申込締切：8/4(月)

●会場案内

鳥取市民会館
住所：鳥取市掛出町12番地
(鳥取駅から市街地を鳥取駅方面へ
徒歩20分)

※駐車場について

鳥取市役所本庁舎敷地の整備工事に伴い、
市民会館の駐車場の一部がご利用できません。
(駐車可能台数：24台)
市民会館駐車場の満車の場合、市定歩道橋
およびわらわら館駐車場の利用料金を最大3時間
まで無料といたしますので、1階乗降室に駐車券を
ご提示ください。
駐車台数に限りがございますので、所定駐車券を
ご利用いただくか、公共交通機関でお越しください。

●その他

・定員に達し次第、申込受付を締め切ります。
・参加希望の方は、表面のQRコード、電話または下記のFAX送信票にてお申し込みください。
お申し込み後は、当日会場まで直接お越しください。
・オンライン配信はありません。当日の様子を、後日本市公式サイトに掲載予定です。
・手話通訳をご希望の場合は、7月18日(金)までにご連絡ください。

鳥取市認知症フォーラム2025 申込用紙(FAX送信票)

●FAX送信先 鳥取市中央包括支援センター
FAX:0857-20-3906 (送信票不要。このまま送信してください)

氏名	(ふりがな)
所属	※所属のある方のみ記入
お住まいの市町村	<input type="checkbox"/> 鳥取市 <input type="checkbox"/> 岩美町 <input type="checkbox"/> 若桜町 <input type="checkbox"/> 八頭町 <input type="checkbox"/> 智頭町 <input type="checkbox"/> 鳥取県中部・西部(市町村名) <input type="checkbox"/> 鳥取県外(都道府県名)
電話番号	※当日開場中止となった場合等にご連絡しますので、必ずお申し込みの電話番号をご記入ください。
手話通訳の希望	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
その他	

主催等

- 主催：鳥取市
- 共催：鳥取県医師会
- 後援：鳥取県：岩美町、若桜町、
智頭町、八頭町
兵庫県：新温泉町、香美町※

※在宅医療・介護連携推進事業において鳥取県医師会を中心に広域連携を行っており、医療圏が重なることから、県を超えて近隣のまち圏域とも連携・協働して認知症施策を推進している。